

NPO活動サポート事業 (ネーミング事業)

寄附者の愛称が付けられた、分野希望寄附を原資に実施した助成事業です。

ネーミング名	一般財団法人さいたま住宅検査センター スマイル 住まいるまちづくり支援事業
事業名	単身高齢者への「死後事務委任」の必要性の認知・啓発とその支援のための事業
法人名	特定非営利活動法人 ライフ・アンド・エンディングセンター 【さいたま市】



活動内容

2000年にNPO法人を設立。2004年「もしもノート」(エンディングノート)を作成。以来17年、各方面で活用されています。現在、2017年に開発した死後事務の安心安全を担保する「エンディングパスポート事業」を展開しています。

事業取組

人生100年時代のあなたの終活講座を開催しました。募集対象は、一般市民及び高齢夫婦/自身の死後に子供に迷惑をかけるのが心配な方や子供世代/本事業に関心のある事業所・団体、民生委員、ケアマネなど。終活と称される終末準備は、多死時代を目前とした現在、各個人、中でも身寄りのない者が、自助として生前に第三者と「死後事務委任契約」を結んでおくことで、自己の安心と地域や行政への負担を減らすことができることを伝えました。

事業成果

講座での体験を生かせるよう、実務を想定したロールプレイを行ない受講体験の定着を図りました。コロナの終息後の活動が期待されるので、参加者に向けての勉強会を開催、更に市民に広めていくことを計画しています。

総事業費 560,306 円

助成額 450,000 円

ネーミング名 キリンビール株式会社埼玉支社 スポーツ支援事業

事業名 「元気が広がる！ルディック・ウォーク」事業

法人名 特定非営利活動法人 N O R D I C あさか 【朝霞市】



活動内容

健康増進のウォーキングエクササイズ、ルディック・ウォーク (以下 NW) を普及拡大することを目的に、

1. 会員対象の教室(定例会)を9回/月
2. 非会員対象の出張教室を随時(30~40回程/年)
3. 一般市民対象のウォーキング大会を1回/年行っています。

事業取組

上記「2」を拡充する形で、

1. 町内会や、老人会等を対象に「閉じこもりがち高齢者の復活NW」プログラム → 3回
2. NW経験者や、NWサークルを対象に「スキルアップ」プログラム → 12回
3. 子ども達を対象に「歩育」プログラム → 3回
4. 現役世代の「ボディメイク」プログラム → 1回の、計19回の教室(体験会)を実施しました。アンケート結果は、90%以上の方々からご評価頂き、NWの良さを実感して頂けました。

事業成果

1. 近隣のNWサークル(11ヶ所)との連携が実現しました
2. 子どもの脚を育む運動(NW)と確認できました
3. 行政、社協、NPO団体等との関係性が強くなったことにより、今後の活動の土台(協働関係)が整いました。

各団体の目標のお手伝いが出来る活動メニューを整えていきたいと思っています。

総事業費 572,051 円

助成額 550,000 円

ネーミング名 | 金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

事業名 | 環境共生のまちづくり事業

法人名 | 特定非営利活動法人 エコネットくまがや【熊谷市】



活動内容

暑さ日本一を記録した熊谷で、翌2008年に設立。環境保全活動を主に、春のサイクリング、夏の打ち水大作戦、冬のしめ縄づくりを実施しています。
とりわけ打ち水は、暑い夏の熊谷を快適に過ごす手段として行政や市民と交流して力を入れています。

事業取組

7月に打ち水サポーター養成講座を開催しました。
8月の打ち水大作戦2020は、コロナを回避するため会場の様子をYouTubeで配信しました。新たに応援歌「打ち水ソーレ！」を制作、振付も行いました。
9月の私を植えて事業(苗木の配布)では、市報で募集した希望者にムクゲ・ハクチョウゲ・イチヨウを配布しました。
12月には、冬の恒例のしめ縄づくり事業を実施しました。

事業成果

打ち水大作戦については、今後もオンラインで実施する予定です。私を植えて事業は、都市緑化だけでなく温暖化対策としても有効なので継続します。
しめ縄づくりについても、現在の形を継続していきます。

総事業費

887,919 円

助成額

800,000 円

ネーミング名 | 金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

事業名 | 「カヌーで再生！綾瀬川の清流」事業

法人名 | 特定非営利活動法人 草加市カヌー協会【草加市】



活動内容

水質ワーストワンの綾瀬川を蘇らせるためにカヌーで浮遊ゴミの回収活動を実施し、また、安全で親しめる水辺環境を作るため、カヌー教室やカヌー体験会、カヌー大会を実施しました。
さらに、足立区、越谷市、春日部市の綾瀬川流域の方々と連携し、河川美化活動やスポーツ文化の普及活動ができるようになりました。

事業取組

- 1.夏休みカヌー教室 8月1日実施、親子20名が参加
- 2.街づくりイベントでカヌー体験会 川の駅そうか村カヌー体験会等で160余名が参加
- 3.綾瀬川の浮遊ゴミをカヌーで回収 活動日数123日、参加人数のべ1,204名、ゴミ992袋
- 4.防災救助訓練 毎月最終水曜日、救助艇の操船、救命浮環投てき訓練
- 5.第1回優勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会 12月20日実施、市内外から100余名参加

事業成果

今後も3つの目標、①河川美化 ②スポーツ文化の普及 ③行政と連携して安全で住み良い街づくりを目指してがんばります。次年度も、松尾芭蕉杯カヌー大会を開催する予定です。
これらの活動が、水辺や河川を意識し、自然を大切にすることを育むことにつながると考えています。

総事業費

685,861 円

助成額

646,000 円

NPO活動サポート事業 (ネーミング事業)

ネーミング名	株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業
事業名	さまざまな主体が関わる見沼の田畑の管理を地域の人に知ってもらう事業
法人名	特定非営利活動法人 のらんど【さいたま市】



活動内容

見沼田んぼにおける農業を通して、さまざまな人が活躍することにより見沼田んぼの保全に寄与できるよう、農作物の生産販売、農体験イベントの開催などの活動を行っています。拠点の見沼田んぼ福祉農園とその周辺農地を耕作しています。

事業取組

遊休農地を活用することで見沼田んぼの保全につなげます。農的活動を持続的にするため、まずは見沼田んぼの存在と価値を多くの人に知ってもらうことが必要です。これまでイベントを開催し実地体験で知ってもらう方法を採用してきました。コロナ禍においてこの方法が難しくなったので、SNSでの発信や、実際に手に取れる商品としての加工品の開発を行いました。田畑の管理は市内の貧困支援団体や障害福祉団体の利用者にも活躍してもらいました。

事業成果

昨年度より広い田畑を耕作しました。他の団体や大学との連携やSNSの広報で支援者とのつながりが増加しました。また、フードプランナーの協力で唐辛子ピクルスや里芋アイスを試作しました。今後はこの成果を生かしてファンを増やし、地域の人材が活躍する持続可能な活動を目指します。

総事業費 1,406,816 円

助成額 800,000 円

ネーミング名	株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業
事業名	吉田地域環境整備事業
法人名	認定NPO法人 森のECHICA【秩父市】



活動内容

幼児期から自然実感型教育・環境教育を行い、人間の根幹となる環境観を育み、持続可能な社会を担う人材を育成する活動を行っています。不登校親子の居場所作りやニートや不登校など生きにくさを抱える若者の自立・就労支援も取り組み、若者支援を主軸に地域の課題を横断的に支援する仕組みを作り、子育て親子の居場所作りや子ども食堂も運営しています。

事業取組

秩父市下吉田の棕神社周辺の整備されず放置された森林に人の往来を取り戻すべく環境整備を行おうと計画しました。地域の協力者と共に作り、地域の居場所として活用して頂きたいと考えました。市民の力で環境整備が継続できるよう、チェーンソーの使い方を学び、間伐の実践や間伐材から遊歩道作り、休憩用のベンチ作りを学ぶため、講習会を開催しました。林業のプロである空師と建具職人を講師として招き、地域の協力者と共に学び実践しました。草刈り作業と間伐材の新作りも実施し、地域の協力者と共に汗を流し、森の再生を体感できました。

事業成果

森を間伐し休憩場所を作り、森から川へ続く遊歩道が完成しました。下草刈りを行い、安全に過ごせる環境が整いました。回を増すごとに地域住民、遠方からの参加者が増え、協働して進められ本当に感謝しています。参加者同士の交流も深まり、参加者の居場所にもなりました。今後はこの環境維持に尽力し、定期的な草刈り作業と、間伐材の有効活用と、自然体験イベント等を企画し、多くの方が活用できるよう事業を発展させたいです。

総事業費 833,760 円

助成額 800,000 円

ネーミング名 | 損害保険ジャパン株式会社 防災・地域安全支援事業

事業名 | 避難所運営訓練及びNPO連携構築事業

法人名 | 特定非営利活動法人 NPO埼玉ネット【さいたま市】



活動内容

阪神淡路大震災での災害ボランティア活動、その後の自然災害支援の知識と経験を生かした災害支援活動は本法人の特徴です。東日本大震災では緊急支援活動を全国のNPO・市民団体と連携して行い、先導的な災害ボランティア活動を行いました。支援活動の理論的・実践的研究を大学・研究所とも協働し、協働型災害訓練を継続的に行っています。

事業取組

1. 避難所運営セミナー・訓練
日進防災訓練(災害時に自治会役員等が対応できるように実際にアルファ米を調理する「おいしく食べるアルファ米調理教室」も含む)を2回80名の参加者で行いました。
2. 連携構築に関する調査
成果物「市民の災害支援活動の歩みとNPO連携」1,000部製作、首都圏市民センター・市民団体・自治会等に配布しました。

事業成果

1. 避難所運営セミナー・訓練
自治会役員以外の住民参加も多数で、活動が広がり、フードバンク日進の設立につながりました。
2. 連携構築に関する調査
災害支援活動を風化させず、次世代に引き継ぐ資料が完成しました。
協力者 市民キャビネット災害支援部会、編集者石山僕(作家)

総事業費

629,763 円

助成額

450,000 円

ネーミング名 | 埼玉織物工業協同組合 災害救援・防災支援事業

事業名 | 避難所開設キット作成、普及及び啓発事業

法人名 | 特定非営利活動法人 埼玉県防災士会【入間市】



活動内容

埼玉県に在住・在勤する防災士の有志が集う団体です。地域社会の防災力向上に貢献するために、毎月研修会(座学・実技)を開催しているほか、常設訓練場にて救出・搬送訓練を行っております。地域啓発活動・行政機関等からの講演・訓練指導依頼にも対応しております。

事業取組

地震・水害等の災害が多発する中、避難所を開設することが増加しています。避難所開設訓練を実施するも、担当者・参加者は毎回異なるため、実際に避難所を開設すると混乱が生じています。組織化され訓練された避難所では避難者(被災者)の生活の向上が見られます。そこで、避難所開設・運営するに当たって、マニュアルをチェックシートとして明確化し、必要な資機材を事前準備し、これらをキットとしました。このキットを行政の危機管理部署・自主防災組織にPRして、普及及び啓発してまいります。

事業成果

避難所開設キット5セットが完成し、今年1月以降に普及及び啓発事業する計画でしたが、緊急事態宣言が発令されたため、行政の危機管理部署への訪問もできませんでした。普及及び啓発事業については、次年度以降の課題といたします。

総事業費

254,821 円

助成額

253,000 円